

南相馬ブログ新聞

インターネット上のブログ(日記の一種:掲載許可済み)等からの転載です。執筆者は南相馬市関係の方(滞在の方・避難された方等)が主体です。**内容は個人の意見であり公のものではありませんがそれぞれの立場での本音が書かれています。**同じ被災者・市民同士の生の意見として参考にしていただければ幸いです。

編集・発行 NPO ながおか生活情報交流ねっと soiga01@gmail.com、
今まで協力いただいた先(判明している所のみ):長岡大学、同学生有志、長岡技術科学大学ボランティアサークル、飯田ボランティア協会、山古志村のマリ 配布協力避難所:新潟県長岡市内・湯沢町内・見附市内・小千谷市内、長野県飯田市内・豊丘村内、ほか
新聞 PDF 置場 <http://www45.atwiki.jp/soiga/pages/137.html>

帰還要請 東北の関西人

被災者と被災地で働く全ての人がまた普通の生活に戻れますように。 2011-07-14

<http://ameblo.jp/morimarion/entry-10953626567.html>

仕事がやっと順調になってきたなと思ったら

「お前ら、そろそろ帰ってきて市の為に尽くせ」とのお達し
あまり避難所に迷惑かけてんじゃないよ 被災者用仮設住宅
建ててやるから そこで市の復興の為にがんばるよとの文章が「市から」届きました

悲しい限りです

自分たちは何もせずに市民だけに「復興がんばれ」とかあり得ない

外の人間が言うならまだしも

市がそんなこと言うなんておかしいんじゃないんですか？

今まで市が市民の為に何をしてきたのか

何をしなかったのかの方が圧倒的に多いのに

何なんだ、その仕打ちは

まあ従うつもりはありませんけどね

市が国が本当の事を言わないのなら何もしてくれないのなら

私たちは自分の判断でこれからの将来を決めるだけ

そう それしかないのですから

とりあえずなんらかの進展があるまで帰るつもりはありません

京都でやっていきます

#####

ミーティングの絆 ありがとう

被災者になって学んだこと、考えたことなどを毎日かいていきます。大変だけどもありがとうだけでも忘れないでいよう。

2011年07月15日(金)00時36分12秒

<http://ameblo.jp/kanasanndoo/entry-10953889175.html>

お久しぶりです。

目を腫らしてかえってきました、キャナです。

今日、ミーティングがありまして…そこで本音の言い合いをしました。

パートリーダーさんがはっきりと本音という本音を言っていたので私も一言。

『今日は本音の言い合いだから言わせてもらいますが、「合唱やめたい」とか愚痴られるとはっきり言うといライラします』

合唱大好きな南相馬市民にとっては禁句ワードもいいとこなんですよ、これ。

南相馬市では小学校は本当にレベル高い(アンサンブルコンテスト一位とか)のですが中学校から合唱ないので涙流しながら中学校に入る感じで。 高校もあんまりありませんし…

だから合唱のためだけに来た私にとっては『一緒に辞めない？』とかいう勧誘(?)は軽く嫌がらせの部位に入ると解釈してます。

こちらは合唱があたりまえのようにあるので恵まれてることを知らない。

いえ、郡山を非難してるわけじゃありません。

…ジェラシーは感じてますが(笑)

といいますか、『辞めたい』という人がいれば私は『どうぞ？』っていうしかないじゃないですか(-_-)

辞めるんだったらその声をくださいって感じですし、選抜メンバーになりたいって人がどれだけ下にいるか分からない無神経さに呆れるばかりです。

私は下の中でもどん底部分なんですけどね(-_-)

何が言いたいかというと、郡山が羨ましいってことです。

という感じのことを一気に言いましたら、後輩ちゃん達やパートリーダーさんが泣いちゃいました。

そしたら自分も泣けてきて、今の状態になるわけです。

でも今日のことがあり、本当の仲間になれたと思います。

家族的な？アルトファミリーみたいな。 絆っていいね(^_^)

…だけどアイマスクしながら寝なければ…

明日まで腫れてるなんてことがありませんように

#####

南相馬市から7月16日夜 サイヤ社長のブログ

福島県南相馬市で青果食品惣菜スーパー「Saiya」を営

ています。新鮮な話題をお届け！ 2011-07-16 19:52:41

<http://blog.goo.ne.jp/shigeki2121/e/5e739442efded48d7985dce9796ded85>

屋内退避当時、屋内退避の意味が分かりませんでした。国からもどうして屋内退避なのか詳しい説明はありませんでした。今もってありませんが。緊急時避難準備区域になりました、何が危険なのか、どうなったら避難しなければならないのか、説明はありません。

そして今、解除を検討しているとの事です。危険はなくなったのでしょうか。ただ、原発の行程表の期日が来ただけの話だと思いますが、とても原発が安全になったとは言えないと思いますが、解除するのならこの地でどういった生活が出来るのか、放射能はどうなのか、きちんと説明が必要ですよ。

今、南相馬市が避難している人たちに文書で帰宅を呼びかけているそうですが、その書面に子供達はマスク、長そで着用しなるべく外では遊ばせないようにと書いてあるそうですが、それを見て帰れますか？安全、安心な土地ではないという事ですよね、不安ですよ、残念ですが事実まだ安心して子供達を呼べる状態ではないような気がします、国の考えは違うようです。

原発は危険だから止めて、いずれは廃止するそうですが、安全でない、危険な場所だとわかっていながら、帰れと言う政府、管総理の考えがわかりません。

解除されても、もう元には戻れません、生活も商売も農業も漁業もすべてが今のままでは、苦しいままです。

生活、商売の保障をしながら、安全、安心な街への建設に向けての復興案を元に住民の理解を得つつ解除に向けて検討していくのなら良いのですが、今はまだ早いに思えます。

若い世代はこのままだと、本当に帰って来ないようになってしまいます。国への忠誠心は無いでしょう、国がこれだけ隠し事をし、嘘ばかりついていたのでは、自分の身は自分で守らなくてはという気持ちが強くなっているようです。国に信用が無ければ無理も無い事です。

解決策、国が正直に正しい情報を開示することです。どの程度危険なのか、安全なのか、決めるのは住人の我々です。情報を検討して住むかやめるか、商売を続けるのか、やめるの

か、そのためにもまずは、国がこれ以上嘘をつかない事ですね。

南相馬市から7月17日夜 2011-07-17 20:16:26

<http://blog.goo.ne.jp/shigeki2121/e/ab50a7580121cf18abb2a6bf17e73233>

今日、南相馬市の復興会議がありました。各団体や業界、地域の方たちの意見はそれぞれがまっとうな意見であり、当然の話であり、誰もが納得しうる意見のようですが、南相馬市全体の事となると、結局はまとまらない話で復興計画にはまだほど遠いようです。

漁業関係者は港を、小高区の方はインフラを、企業誘致を、働く場を、若い人たちが戻れるようにと、どれもが、必要なことばかりです。

最後にある人が、まずは、放射能汚染が大丈夫なのか、安心して住める街なのかを確認する必要があるから、そこから始めなくてはならないでしょう。と言う意見で終わったそうです。

まさに、そこからでしょうね。安心、安全でない町では復興計画が立てられるはずがありません。



南相馬市から7月18日朝 2011-07-18 05:23:20

<http://blog.goo.ne.jp/shigeki2121/e/15fb8334f1e58abd01ba441e53c53b04>

『災害ユートピア』

そもそも、人災と天災を分けて考える必要はないだろう。純粋な自然災害などないのではないか。

日本では、以前にも津波に襲われた地域に建造物を建てる許可が下りていた。これは人間が下した決断だ。

人災の最たるものである世界大戦後にも東の間のユートピアは出現した。独裁政権下の社会にも共通して見られる。東の間のユートピアとは言い換えれば、地獄のパラダイスなのだ。

そう考えると、われわれは今、なんと災害の起こりやすい時代にいるのだろうか。貧困問題、過剰な都市開発計画、気候変動など、われわれを脆弱にする要素は枚挙にいとまがない。

そうしたなか、自分達が誰で、どんな人生を送りたいかを考えることは、今、非常に貴重なことだと思います。

われわれは、心理的な私有地の中に生きていたいと思いがちだ。人生とはプライベートなもので、愛もロマンスも家族も消費も、休暇までもがプライベートなものだと感じてしまう。だが、それは本当に私たちが望んでいる世界なのか。災害の際に見せる姿が本質だとすれば、心の中にある隠している感情を表に出す事を拒む日常は、別のかたちの災害ではないのだろうか。

#####

歴史的汚点ともなりうる・・・南相馬市民の帰還計画

負けてらんにあ！みんなでなんとかすっぺ！！

南相馬市から新潟県三条市へ集団避難した者たちの現地報告です。 2011-07-15 21:04:19

<http://blog.goo.ne.jp/minamisoumashi-hinan/e/041072e9ab205e4367f51dbfd559f949>



昨年7月我が庭で

南相馬市から避難する全避難者に対し『避難されている南相馬市民の皆様へ』とする市長のメッセージを表にA4版9ページにも及ぶ文書が配布されました。

中間のページは

「・・・濃度は基準値以下であり、直ちに、健康被害をもたらすことはありません」

「・・・安全・安心・・・」と・・・どこかで聞いたような言葉の羅列です。

そして 問題は結論のページです。

『市外に避難している南相馬市民の帰還計画』

— 自立に向けて さらに一步 踏み出そう —

□ 目標 (一部省略 原文のまま)

市外に避難している南相馬市民全員を早期に南相馬市に帰還させることにより、大地震と大津波により甚大な被害を受けた南相馬市の復興計画の策定を市民の総意を結集してとりまとめるとともに、市民自らの力で復興計画に基づいてまちづくりを迅速かつ効率的に推進するため、『市外に避難している南相馬市の帰還計画』(以下「帰還計画」という)第二次計画

を策定します。(* 意図的なのか・・・原発被害が抜けている・・・のです)

□ 用語 (省略)

□ 計画

1. 南相馬市民は、本年7月末をもって市外の一次避難所から退去します。

2. (省略)

3. 二次避難所に入所している南相馬市民は、本年8月末までに避難所を退所し、可能な限り自宅に戻ります。また、自宅に戻れない市民は、応急仮設住宅(民間借上げ住宅を含む)へ入居し、自立の道へ踏み出します。

未だ原発事故の収束が図られていない状況 と言いつつ・・・あきれた結論なのです。

まだ4ヶ月だというのに・・・なんとも浅はかな信じられない結論なのです。

・・・みなさんは どうお考えになりますか？

私には 歴史的な汚点ともなりうる結論・・・と思えるのですが。

#####

南相馬市長から、住民への説明会

ゆっ太郎 (2011.07.16 12:58)

相双ゆたどさ ゆったりが、どっさり。～ふくしま相双～

<http://yumesoso.jp/yutadosa/archives/3376.html>

7/15(金)、18:30より

震災発生から4ヶ月、いまだに休校の続く南相馬市原町区内の小学校で南相馬市長から、放射線量が比較的高いとされる地域住民への説明会が開催されると聞き行ってきました。

会場となった体育館には座りきれないほどの市民が市長と、市担当の話を待ちます。



(福島民報 7/16 付 16面社会面掲載: 市民約700人が参加) 主催団体、ひまわりプロジェクト in 南相馬 実行委員会の代表挨拶のあと事前に市長へ提出し、回答を求めたとする当日会場に集まった市民へも配られた質問項目資料に沿って、質疑が始まります。

⑤回答:小川町体育館で希望者へ配布している。この市からの回答について、「そんなことは知らない・聞いたことがない」「団体のみが対象で、個人には配布しないとされた」との声が飛び交いました。

⑥回答:緊急時避難準備区域外への避難希望者へ民間借り上げ住宅を案内している。

⑦回答:8 月から、手帳に代わる何らかの方策を検討している。

⑧回答:予算等を考慮しながら検討する。

⑨回答:7/15 付広報添付資料として各戸へ配布。

また、放射線量について測定を無料で実施の予定。
[市サイト掲載資料]:南相馬市産農産物の放射線モニタリング結果について

⑩回答:市民から寄せられた要望はすべて文書化し国へ提出している。

また、年間 20mSv/h を超える空間放射線量を測定した地点について該当住民の要望を踏まえたうえで特定避難勧奨地点として国との協議を進めていくこと市内に居住することたちへ対し、地上 50cm・1m でそれぞれ測定し暫定基準値 2uSv/h を国へ要望していくことを、それぞれ説明されました。今後、広報や市のサイト等で案内していくそうです。



南相馬市役所
(URL:
<http://www.city.minamisoma.lg.jp/>)

●放射線測定の講習会の開催について(8月開催予定) 南相馬市 東日本大震災関連情報(H23.7.19 8:30 現在)
<http://www.city.minamisoma.lg.jp/i/k/hosyasen-kousyukai.jsp>

市では、放射線測定に関して正しい知識を身に付けていただくため、放射線測定の専門家を講師に迎え「放射線測定の講習会」を開催します。なお、開催通知は、応募者全員にご連絡します。

◇内容

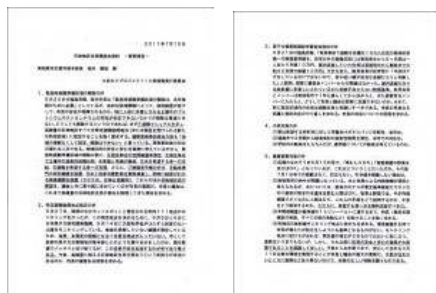
- ・放射線測定の基礎(90分)
- ・測定器の校正と標準線源を用いた実測(90分)
- ・農産物の簡易測定法など

◇申込方法

電話や窓口でお申し込みください。受付:環境衛生課 0244-24-5231



(配布資料:石神地区住民との懇談会開催 挨拶)
※(実際のブログでは画像クリックで pdf 書類を表示します。)



(配布資料:石神地区住民懇談会資料-質問項目-)
※(実際のブログでは画像クリックで pdf 書類を表示します。)
まず、桜井南相馬市長より 7/17(日)にも発表されるような報道のあった緊急時避難準備区域の解除について「当日(7/17)の解除発表はありません」と明言されました。



「緊急時避難準備区域の解除は、本市復興のために必要」と桜井市長が発言したとされる報道について「該当記事は電話による取材を受けたもので [現状を踏まえた対応を]の部分が掲載されず報道されたもの」との説明があり、今回の主催者側が用意した質問書に沿って質疑がなされました。

(配布資料:石神地区住民懇談会資料-質問項目-)表面・裏面
(編集より:ブログでは書類が閲覧できるようになっています)

以下、配布資料に基づき

1. 緊急時避難準備区域の解除の件

①回答:避難マニュアル策定に着手し、市サイトより閲覧可とする。

高線量地域の勧奨地点指定は、居住市民の要望を踏まえて対応する。

②回答:居住単位で 6/27 より、指定 111 箇所実施。 7/13 より山際の地区についても線量の高い 8 行政区へ実施。

③回答:放射線マップを公表予定。

④回答:個人などで除染を実施した際に費用負担できるよう議会へ提出。